

無用の形容を避け、その事實の概要を紹介せんこと  
に心をを用ゐたり。もとより精彩に乏しき筆つき  
はために一層の枯燥を加へぬ。讀者幸に文華の  
如何を問はずして、この家庭に於ける婦人の模範  
の行實を反覆玩味せられよ。

ローランド夫人 (つゞき)

### 鄭 越 生

一千七百八十九年五月五日、時のふらんす國王、るい  
十六世は國會をヴェルセル宮に開き、財政整理の策  
を議せしむ、是よりさき、十六世王は痛く、國家財政の  
紊亂せるを憂ひ、ターゴ、テツケル、カロンヌ等を  
登庸し、相つぎて、その整理に任せしめられたるも、一  
として成效せしものなく、こゝに至り、竟に破産の極  
に達しければ、事務局の救済を輿論に問はんとて、かく

は國會を召集したるなり。

國會議員の總數は、一千二百十四人、その内貴族二  
百八十五人、僧侶三百〇八人、平民六百二十一人なり  
開會第一に、貴族僧侶及び平民派の間に、議事の方法  
につきて、意見を異にし、紛々決する處あらず、平民  
派は飽迄その主張を貫かんとて、自ら、議會を組織し  
國民議會と稱して、單獨に議事を進行し、其勢甚だ  
盛んなり。

平民議員の勢力かくの如く、遂に貴族僧侶の輩を壓  
倒したるを機とし多年怨みを飲みて、貴族等の專横を  
怒りつゝありし、平民の公憤一時に暴發し巴里と云は  
ず、地方どいはず一揆徒黨至る所に蜂起し、或はバス  
チール獄を破壊し或はヴェルセル宮を攻撃し、紛亂  
殆んど名狀すべからず。

一千七百九十一年九月國民議會みづから解散し、新

憲法の規定により、更に立法議會を開き専ら國政を議す此の議會に於て政黨明に分れて三派となり各旗幟を立て、相下らず。

三派とは曰くギロンド黨、曰く山嶽黨、曰く平原黨是れなり。

その議員の多數がギロンドより選出せられたればとて其地名を名に負へるギロンド黨は甚だ溫和なる共和政治を主義としブリノー、バルボア、ヴェルニア等其領袖たり。

議會に於ける彼等の議席が高所なればとて其黨名となせる山嶽黨は最も過激なる主義を抱持しロベスピエール、ダントン、マラー等之を指揮す。

平原黨とは其議席の住地より山嶽黨に對して命名せるなり此黨派は甚だ微弱なるものにして、何等の勢力なし。

山嶽黨の主義は急激なり、秋霜烈日の如き、一刀兩斷革命の實を擧げんとす。ギロンド黨の主義は溫和なり、霽然たる春風の如し、着々として其實蹟を收めんとす、今や佛蘭西全國の精神たるべき、立法議會は、その主義に於て、斯くの如く反對の甚だしき、二派の抗争する所となりぬ。

佛蘭西革命の性質は、立法議會に於ける二派の勝敗に由りて直ちに豫期するを得べし、若し山嶽黨にして優勢を占めんか、來るべき革命は極めて峻惡なるものならざる可らず、願くばギロンド黨をして、議會に勝を占めしめ、以て溫和なる革命を遂げしめよ。

ローランド氏は、初じめ、リヨンの選舉區より選出せられて、立法議會に入り、籍をギロンド黨に列したりしが、次第に勢力を得、一千七百九十二年、遂に推されてその首領となる、是れ氏が天性稟有せる、政治

上の才幹によりてしかりしなれども、然れども、夫人の内助、大いに與かりて力ありしは疑ふ可からず。

當時夫人は、如何にもして、温和なる革命により、現下の問題を解決せしめんと欲し、常に其良人に待して、内外の政客に接し、革命は止む可らず然れども、急激なる革命は最も之を避けざる可らず、蓋し革命の止む可らざるは國家の弊政を矯め人民をして天賦の權能を完ふせしめんがためなり、然るに急激なる改革はその弊を矯めんとして一層多くの弊を遺すものなり。天權を振張せんとして一層之を滅殺するものなり、所謂病を治して人を殺すものなり、角を矯めて牛を亡ぶの類、大に戒めざる可らずとなし、諄々唱導して倦まず、ローランド氏がギロンド黨に入りたるも、ギロンド黨の政客が相率ゐて氏の袖下に集合せしも、夫人の助力に原因せずんばあらざるなり。(以下次號)

## ヴィクリアト陛下

同人

緒言

明治三十四年一月二十二日大英國女皇ヱキクヱリア陛下崩御し給ふ、女皇壽を享け給ふこと八十三歳、世を治しめし給ふこと六十六年、盛徳六合に光被し、仁慈草木に及ぶ英國皇室は勿論、四億萬を以て數ふる英國臣民の悲嘆果して幾何ぞや。

我 皇上、深く哀悼の意を表せられ、宮中喪を行はせ給ふこと三週日、

帝國議會、また一日の休會を決議し、帝國民痛惜の誠意を表す、吾人異國の民、地をさる數千里、固より人種を異にし、宗教風俗を異にし、言語文章を異にす、而かも陛下の訃音を拜し、悲嘆殆んど禁ずる能はず、偶々